



今月の題字  
菊池友美ちゃん  
(轟木小6年)

# 町のわたい

## 山田地区 佐藤トクさんが100歳に 多くの祝福に笑顔で応える

山田地区の佐藤トクさん(明治37年生まれ)が8月28日で満100歳の誕生日を迎えました。同日、入院先の加藤病院(宮古市)に沼崎喜一町長が訪れ、長寿を祝福。「佐藤さん、お祝いを持ってきましたよ。これからも長生きしてください」と声を掛け、長寿祝い金を手渡しました。4年前に体調を崩し同病院に入院している佐藤さんですが、現在は大好きな童謡を歌って周囲を楽しませるなど元気な様子。病院に訪れた孫嫁の知佳子さん(20)と友人の佐々木友彦さん(29)、病院関係者らからの多くの祝福に笑顔で応えていました。



沼崎喜一町長に義援金を手渡す横田裕会長(右から2人目)と、松尾善治副会長(右)、川石睦副会長(左から2人目)

## あとRun太さんのコンサート ギターと歌声でエール送る

8月1日、いじめや不登校に悩む子供たちや保護者、病に苦しむ人たちに勇気づける活動を続けている広島在住のシンガー・ソングライター、あとRun太さんのコンサートが龍昌寺境内で開かれました。少年非行や犯罪抑止を目指して4月に発足した山田BBS会(横田裕会長・会員42人)が主催したもので、2年前に大槌町であとさんのコンサートがあり、会員が交流を続けていたのが縁で今回のコンサートが実現したものです。山田大神楽が本堂前の特設舞台を清め、本町で合宿中の法政大学応援団がエールを送るとギターを手にあとさんが登場。自らの闘病生活や息子の家体験から生まれた自作の曲を中心に約1時間半にわたり10



自作の曲を熱唱するあとRun太さん(丸写真)／あとさんのギターと歌声に拍手子で応える観客(写真上)

曲を熱唱し、詰め掛けた約200人の観客に励ましのメッセージを送りました。当日は会場で募金活動も行われ、9日には横田会長と松尾善治、川石睦両副会長が役場を訪問し、集まった義援金約9万円を日本赤十字社県支部山田町分区(分区長・沼崎喜一町長)に寄付。横田会長が「新潟、福井豪雨災害の復旧に役立ててください」と沼崎町長に手渡しました。沼崎町長は「皆さんの活動に感謝します。救済見舞金として現地に届けます」とお礼の言葉を述べました。



## 東北総体 本町で12年ぶりの開催 各県の精鋭が熱戦繰り広げる

8月28日と29日、第31回東北総合体育大会相撲競技が、前須賀公園相撲場で開かれました。本町で12年ぶり2度目の開催となった今回の大会には、東北各県の代表92人が参加。土俵上で熱戦を繰り広げました。会場には早朝から熱心な相撲ファンが駆け付け、本県選手が登場するとひとときわ盛んな声援。豪快な決まり手が出るたびに大きな歓声が上がっていました。結果、本県では成年男子Bの団体で準優勝、個人戦で準優勝と3位に入賞する活躍がありました。

## 親子木工教室に42人が参加 やっと仕上げた力作に満足顔

8月1日、県緑化推進委員会山田支部協議会と飯岡地区住民自治会など共催の「親子木工教室」が飯岡防災センター前で開かれました。木のぬくもりを肌で感じ、緑化への意識を高めてもらおうと毎年行われているもので、この日は親子連れなど42人が参加。大工の上林常雄さん＝織笠＝の指導で、本立てや巣箱作りに挑戦しました。慣れないのこぎりや金づちを使っての作業に悪戦苦闘する子供たち。父母らの手を借りてようやく仕上げた力作に満足顔でした。



## 法政大学 合宿の成果を披露 元気な応援で観衆を魅了

8月1日から本町で夏季合宿を行っていた法政大学応援団(辻田真也団長)の合宿成果を披露する「パフォーマンス公演」が、8日、中央公民館大ホールで開かれました。公演に先立って、JR陸中山田駅から同公民館まで団員らがパレード。沿道に詰め掛けた大勢の町民から大きな声援が送られました。公演第1部では、50人ほどで編成する吹奏楽部の演奏。迫力ある演奏で会場を沸かせていました。第2部はチアリーディング部30人で編成する「ジェニース」のステージ。音楽に合わせたダンスや、さまざまな隊形からアクロバティックなスタンツまで、躍動感あふれる演技で観客を魅了しました。第3部では応援団リーダーによる団旗紹介に続き、校歌や応援歌、「勝利の賛歌」などが披露され、観衆700人から盛大な拍手が送られていました。



町をパレードする応援団の皆さん(写真上)／力強い応援を披露する応援団リーダー(丸写真)